

# 視察報告



## 観光で元気なまち武豊町に

佐賀県神埼市・武雄市

### 業建設

佐賀県神埼市「ワールド

ミュージアム」事業

を抱えながらも、吉野ケ里遺跡をはじめ、市内に数多くある名所、旧跡を点から線に結び、市内にお見えになった観光客の滞在時間の拡大に取り組んでいる。そして、マスコミやFM局を利用し、街のイベントやコースを流す試みをしている。

佐賀県武雄市  
「元気再生武雄ブランド化プロジェクト」事業

他市町で取り組みがなされていらない事業を推進し、市が開催するイベントをテレビなどで宣伝をしている。職員には、できない理由ではなく、できる理由を考えさせ、事業展開に結び付け

### 総企画

#### 武豊町に活かす津波対策

静岡県中部電力浜岡原子力発電所  
静岡県地震防災センター・焼津市

10月13日、浜岡

原発視察では、浜岡原発は安全な発電施設であることが前提で、東日本大震災後、津波対策を見直し強化したことでいっそう安全強化が図られたことが強調された。

事業の約8割は失敗事例であるが、2割の成功を模索するため、失敗を恐れず職務を遂行する気風を生み出している。また、ドラマ、映画ロケ地の誘致などにも積極的に取り組んでいる。



■武雄市役所

議員から、地震の揺れに対する発電所建屋・施設の強度、津波に対する安全対策、駿河湾地震発生時の5号機運転停止問題、新たに指摘された断層の確認などの質問に対しての回答は、押しなべて耐震基準にマッチしている。新たな問題に対しては、関係機関に調査結果を報告しましたとの回答にとどまった。

14日、焼津市防災センターおよび静岡県地震防災センター視察では、焼津市では主に津波対策について視察した。



■静岡県地震防災センター

焼津市の住居地域は標高が低く、東海・東南海地震が発生し、市内全域に津波被害が発生することを想定した対策が計画されていた。主な点は①市内に標高表示タワーの設置等など参考になる点が多々あった。

静岡県地震防災センターの視察では、シアターによる東日本大震災の津波被害の状況を見たあと、地震体験をした。

### 文教厚生

#### 子育て支援と図書館指定 管理者制度を考える

福岡県小郡市・太宰府市

小郡市は、子育て支援に関する情報や事業を一元化し「子育て支援サイト」として市のホームページに立ち上げて、市民に情報発信している。

0歳から就学前の子どもとその保護者が関係している健康課、福祉課、子育て支援センターなど7機関の第一線で職務に携わる者で構成される「子育て連絡会」を月一回開催し、企画、情報交換などを行い、情報を共有しながら、運営されている。これらの電子情報発信が「子育て支援サイト」であり、ペーパーによる情報発信が「子育て支援ガイド」である。

小郡市立図書館は、直営から指定管理者制度を導入したが、三年後に直営に戻った。指定管理者時代の館長としての想いが大きく影響した。①館長は市議会や教育委員会に出席できず、発言する権限がなかった。②指定管理者には二つのヘッドが存在することから、事



■小郡市での研修風景

業の停滞や意思疎通に時間が掛かった。③市の情報が入りにくかった。直営にすることで、これらの問題を解決した。

太宰府市では、子どもと保護者の居場所づくりの一つとして「子育てサロン」がある。子どもを遊ばせながら、ホッとできる場所の提供と子育てに関する相談もできる場所である。また、子育て支援センターまで来られない方のため、地域の公民館で「地域子育てサロン」が小学校区7校区にか所以上の支援の拠点づくりが行われ、保護者同士、地域の人と交流を図っている。